

令和5年度 自己評価

学校法人 宝仙学園
宝仙学園幼稚園

1, 園の教育目標

<p>・しっかりと考える力を育てる なぜ? どうして? という好奇心を抱き、そこから試行錯誤してわかる喜びや楽しさを生み出します。集団の中でどのように楽しく生活するかを考えます。</p> <p>・感性を表現する力を育てる 集団生活の中で、自分が感じたものや考えたことを素直に、自信をもって表現する力を育てます。豊かな感性は、思いやりの心と知的好奇心を育みます。</p> <p>・人や文化と関わる力を育てる 自分の考えをもちながら相手の考えも受け入れて 関わりを楽しむことはとても大切です。責任感を育て、世界への関心を高めるきっかけをつくります。</p>
--

2, 本年度に定めた重点的に取り組む目標

豊かな人を育てるための教育「感応の心」「生きる力」を育む指導を常に考え本園独自の「教育課程」をもとに幼児理解を深め、具体的な教育内容を充実させ、「質の高い保育」を目指す。

3, 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
保育内容について	・教育内容や教育方針の取り組み ・行事の取り組み	・コロナ禍からマスク生活が長かったが、マスク無しでの保育を行う事が出来た。 保育者の表情や、口の動きなどを見ることにより、子どもたちの表情も互いにコミュニケーションを取る事が出来るようになったことは、大きな成長につながった ・全ての行事は、コロナ禍前に戻し、保護者にも積極的に園への来園や行事参加を積極的に行った ・保護者に理解を得るために、今後の取り組みや教育方針・行事参加などの説明をもっと丁寧に行う必要があった	B
	・教職員研修について	・年間を通しての研修（下記参照） ・「保育カリキュラムの基礎理論」に基づき、教育計画の立案2年目 ・新人からベテランまで、保育の方向性を共に学び研修し「質の高い保育」をめざすため、研修保育として互いの保育の勉強	A

		<p>会をおこなった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いての園内研修(年2回) <p>「身近な樹木の不思議を樹木医の方と園庭や敷地内を散策しながら学ぶ」 「木育講義(樹木プレート作り)」 園庭の様々な樹木をより詳しく知る 子どもたちも一緒に、木のペンダントを作る</p>	
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園の安全、維持管理の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校薬剤師による照度・ダニ検査を定期的に行う ・アスレチックやブランコの総点検を行い、安全に使用できるようにメンテナンスを年3回行っている。 ・園庭植栽と砂場の消毒(年2回) ・園全体での危険な場所(園舎・園庭での遊びのきまり)を職員全員で行う 	A
食育の環境と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的な環境での給食づくり ・安心・安全な食への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回給食部との打ち合わせを行うことで、安心・安全な食事を提供することが出来たが、物価高騰によりメニューの変化が難しい面があった ・食事参観を年少組対象に年1回行い、保護者に日頃の食事の様子を見てもらう機会を設け、保護者理解に務めた 	B
広報媒体	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやブログ YouTube 動画配信 はわかりやすく、活用しやすいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省により、SNSを利用する保護者も多く、インスタグラムやツイッターの情報発信を頻繁にした事で、外部からの募集にもつながっていった ・HP・入園案内の見直しをおこなう ・次年度 SNS をさらに活用するようにする 	C
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画の作成 ・危機管理マニュアル作成 ・教職員の安全対応能力の向上 ・避難訓練 ・防犯 	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回避難訓練、年1回防犯訓練を行い、中野消防署生活安全課防犯係の指導のもと、職員による不審者防犯訓練をおこなった ・年1回 AED 講習及び器具の点検を行う ・学園全体の総合避難訓練の実施 ・玄関及び園舎内防犯カメラ設置 ・24時間警備員の配置 	A
預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> ・安心と安全の預かり ・利用の仕方の柔軟性 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く母のサポートをする。迎えの時間まで、子どもが安心して過ごせるよう、環境を整える ・異年齢の子ども達と一緒に、おやつや遊びを楽しめるようにする 	B

		・仕事をしている人が更に利用しやすくなるように、来年度から預かり保育の見直しを行っていく	
子育て支援	未就園児対象クラブ	・未就園のプレ保育が、ほぼ通常になった1歳児からの受け入れも行い、より多くの子育て世代に参加してもらえるように知らせていったが、人数の減少が課題となり、来年度に再度検討が必要となる(大学と連携し子育て支援を行う)	B
保護者との連携 「母の会」活動	・行事における保護者の参加 「宝仙祭」 ・クラス親睦会	・全部門での「宝仙祭」開催となった。幼稚園母の会として「バザー」「ゲームコーナー」「フードコート」として親子で楽しめるイベントを主催した。多くのボランティアの協力により大盛況となった ・4年ぶりにクラス親睦会を行う事が出来たことで、母たちのコミュニケーションが多くとれた	A

4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>日頃より、建学の精神、守るべき伝統と新しい教育内容を教職員で話し合いや研修を重ねながら研鑽に務めた。</p> <p>子ども一人ひとりの特性を生かした保育、「感応の心」と「生きる力」を育むことを重点にした。質の高い保育をめざしていくためには、教職員の努力のみならず、保護者の理解が不可欠であった。</p> <p>保護者と共に喜びあいながら信頼して頂く事が大切であり、昨年度に引き続き今後も継続していく。</p> <p>働きながら幼稚園の教育を受けられるよう、預かり保育の充実を図っていく必要がある。</p>

5. 自己評価の保護者評価結果(10名)

結果	理由
B	<p>コロナ禍前の状況に戻り多くの行事に保護者が参加出来た事には、感謝をしている。今後も SNS を通じて多くの情報を積極的に発信して欲しい。また日頃から保護者や子どもに寄り添う幼稚園であって欲しい。今後も宝仙の園章にあるよう「子ども・保護者・保育者」が正三角形の点が支えあえるよう、互いに尊重し、育ちあう環境を作って欲しいと願います。</p>

評価結果の表示方法

A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り込まれているが、成果が十分ではない
D: 取り込みが不十分であり、さらなる努力が必要である

6, 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園児募集(園児数増加)	<p>昨年度からの課題として、少子化といえども募集人数の減退は否めない。質の高い保育の提供や、保育理念がバックボーンにあっても募集に繋がらない。今年度から、外部コンサルタント会社を入れながら試行錯誤していった。自分たちの考えにとにかく囚われてしまうが、良き伝統は残しながら、新しい保育・園運営を取り入れていった。今後外部の力を借りながら、園児募集強化に努めていく。</p> <p>預かり保育の充実を図り、仕事をしていても、幼稚園に入れられる体制づくりをしていく</p>

※ 外部研修詳細

日付	研修名	場所
4/29	東京仏教保育研修	ザ・プリンスパークタワー 東京
4/22・9/16・ 1/13	幼小研3歳児連続講座 「3歳児の世界を知ろう ～こころ・あそび・なかま～」	(1回目) TKR 市ヶ谷カンファレンス センター (2・3回目) オンライン
5/31～6/13 6/21～7/4	フレーベル館 職員関係におけるセルフケアと対話の技術 全2回	オンライン
7/25・26	都私幼立教育研究大会 12名参加 保育の中の子どもの声	アルカディア市ヶ谷
7/1～7/31	フレーベル館 あそびのなかから生まれる保育 (5名参加)	オンライン
7/1～7/31	フレーベル館 園での役割を踏まえたスキルアップマネジメント のあり方を学ぼう	オンライン
7/1～7/31	フレーベル館 21世紀型こども主体の保育	オンライン
8/3	フレーベル館 お口の発達から考える乳幼児の食事・心身の発育	ビジョンセンター浜松町
8/3	夏の芸術教育学校	オンライン
8/3	芸術と遊び創造協会 夏の芸術教育学校	ビジョンセンター浜松町 ビジョンセンター浜松町

	「幼児のための絵画指導入門」	
8/2・3	初級絵画指導インストラクター養成講座	ビジョンセンター浜松町
8/3	総合体育研究所 バルーン実技&運動遊び	きゅりあん大井町
8/4	芸術と遊び創造協会 夏の芸術教育学校 「子ども理解と発達支援の実際」	ビジョンセンター浜松町
8/4	芸術教育学校 幼児のための絵画指導入門	ビジョンセンター浜松町
8/6	森ミュージックワールド(株) リトミック夏期特別講習会	芸能花伝舎
8/7	芸術教育学校 子どもの心をひらく絵本の読み聞かせ実践	ビジョンセンター浜松町
8/9・10	中堅教諭研修会	アルカディア市ヶ谷
8/11～8/24	公益財団法人日本幼年教育会 研修Ⅰ【保健衛生・安全対策】 「応急手当の基本手順『あきかぜおかも』」	オンライン
8/18・19	全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 保育における「研究・臨床・教育」をどう考えるか	大妻女子大学
11/29～12/12	フレーベル館 困難や失敗から立ち直る力～保育に活かす「レジリエンス (回復力)の視点～	オンライン
8/2.7.8	夏の芸術教育学校 『自然と楽しむアート&クラフト ネイチャー編』 『子どもの心をひらく絵本の読み聞かせ実践』 『3・4・5歳児の子ども主体の保育で心を育てる』	ビジョンセンター浜松町

※園内研修詳細

テーマ：『教育計画2017』の改定（2年計画）

	日程	内容	備考
1	4月21日(木) 14:30～16:00	『園内研修①』 ・改定の方向性 ・内容、分担確認	
2	4月29日(金) 14:30～16:00	『管外園内研修②』 ・教育目標検討 ・各学年の話し合い	・講師
3	6月9日(木) 14:30～16:00	『園内研修③』 ・空組の検討	

4	11月7日(月) 14:30~16:00	『園内研修④』 ・年少の検討	
5	12月16日 (金) 14:30~16:00	『研究保育』(教員研修) ・クラス…森 ・指導案指導…森 ・研究保育時間 12:30~14:00	・対象クラス以外の 園児 12:30 降園 ・しいのみあり ・通信
6	1月16日(月)	『園内研修⑤』 ・年中の検討	